



2022年1月31日

株式会社立花商店 生田 渉

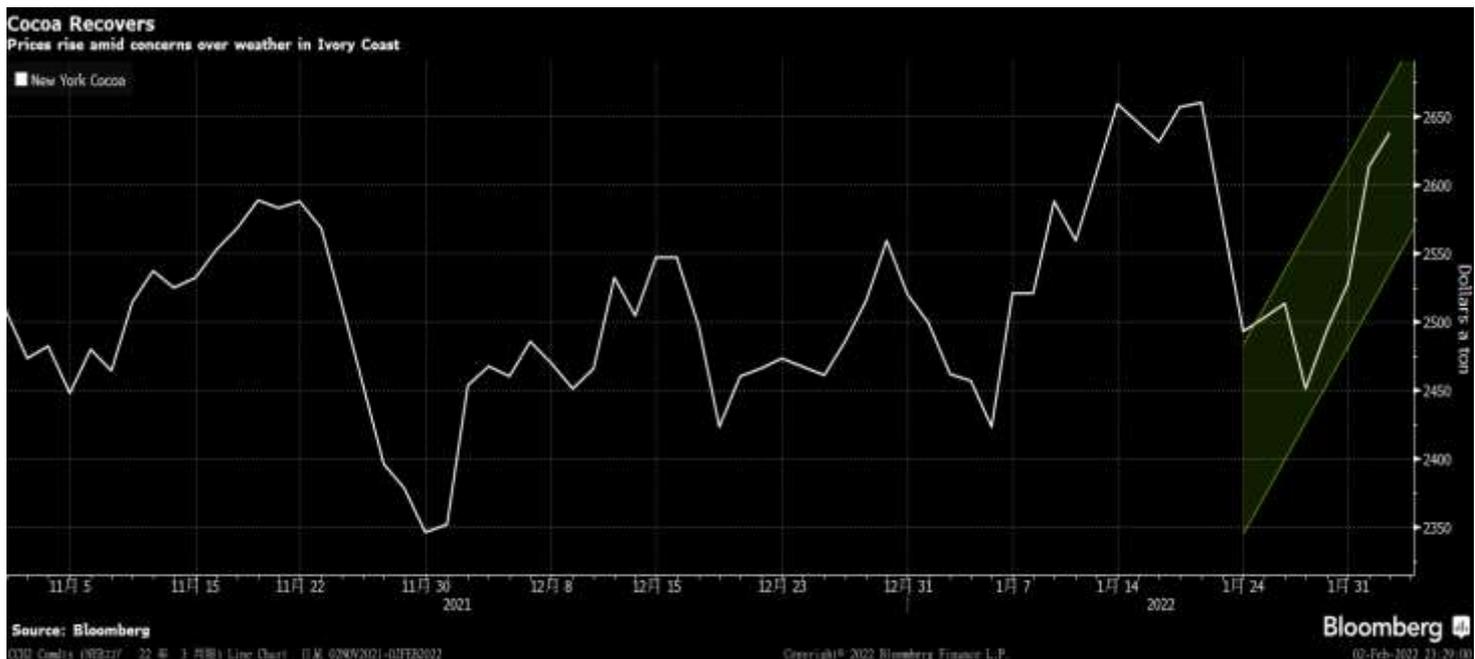
(新) 週刊カカオニュース 57号

毎度お世話になります。カカオトレーダーの生田と申します。

今週のカカオニュースを配信させていただきます。今週に入りカカオ相場がコートジボアールでの長引く乾燥を背景に再度上昇傾向にあります。今回は、アフリカの天候状況に関するニュースを中心に取り上げます。

1、カカオ価格、コートジボワールの暑さによる供給懸念で上昇幅を拡大 (2/2)

コートジボワールの一部で高温・乾燥の天候が続き、供給不足が懸念されることから、カカオ価格は4日間続伸した。生産者が季節風であるハルマタン風の作物への影響を心配し始めているため、ニューヨークの3月限月の先物価格はほぼ2週間ぶりの高値に上昇した。コートジボワール中部で降雨がないことも懸念を高めている。価格は前2周の下落の後、今週は再び上昇している。



「西アフリカの産地では高温・乾燥の天候が続き、この地域のミッドクropp生産にマイナスの影響を与えるため、カカオ価格に有利に働いた」とコモディティ専門のアナリストであるハイトワーはレポートで述べている。ドル安は「特にカカオの短期的な需要見通しを強化するのに役立つ」としている。

ブルームバーク・ドル・スポット・インデックスではドルは0.4%安で、3日続落している。

2、コートジボワール産カカオ、乾燥が続くミッドクロップに大きな懸念材料 (1/31)

コートジボワールのカカオ生産地の大部分では2週連続で雨が降っておらず、農家は月曜日、メインクロップの最終段階の豆の品質低下と4月から9月の中間クロップを縮小する可能性があるとして警告した。

世界一のカカオ生産国であるコートジボワールは、11月から3月までの乾季にあり、雨はほとんど降りません。農家によると、雨不足と高温の時期が重なると、来月から豆のサイズが小さくなり、ミッドクロップの第一段階の収穫にも影響が出る可能性があるとのこと。

「雨が降らず、日中はとても暑い日が続いています。このままでは2月からカカオ分の少ない小豆が出回るようになる」と、先週雨が降らなかったダロア近郊で農業を営むジャン・メッサン氏は語った。先週雨が降らなかった中央部のボングアヌやヤムスクロでも農家は同じような見通しを示している。

また、カカオベルトの中心である西部のSoubre、南部のAgbovilleとDivo、東部のAbengourouでも雨は降っていない。

これらの地域の農家は、この地域のメインクロップはほぼ終わりかけている為、現在出荷はほとんどなく、このまま2月末まで高温で乾燥した天候が続けば、多くの花や小さな鞘が乾燥しきってしまい、4月と5月に収穫されるミッドクロップの収穫は少なくなると付け加えた。

3、アフリカのカカオ：コートジボワールの一部で、ハルマッタンがカカオを乾燥させる (2/1)

世界最大の生産国であるコートジボワールの南部では、季節風であるハルマッタンがカカオを乾燥させはじめている。サハラ砂漠から吹くこの風は、これまでは、農場から市場への豆の輸送する際にこれまで洪水で影響を受けていた道路を乾燥させるのに役立っていたが、長引くにつれて、生産者は作物への影響を心配し始めた。それは、雨が不足しているコートジボワール中央部でも同様であると、シンフラの生産者は語った。

「土壌にはもはや十分な水分がありません」と、コートジボワール南部の町、グランモリエの農家、サリフ・サラム・サワドックは言った。「状況はまだ破滅的ではありませんが、木の上でさやが乾き始めており、だんだん心配になってきました」

西アフリカの他の地域では、先週、カメルーン西部のEdea付近で日照が穏やかになり、農家は雨を期待していると、生産者は語った。また、農家は日差しが強くないことを利用して畑仕事を行なっている。

ナイジェリアでは、南東部の町Ikom周辺では年明けから雨が降っておらず、土壌水分の減少が木々に影響を与え始めているとAbontakonの農家は言っています。南西部ではハルマッタンがピークを迎えているが、まだ咲き始めの木々の花にダメージはないようだ。

4. コートジボワール新物、1/24-1/30の週間着荷数量は 80,537 トン (2/1)

政府のデータに詳しい人物によると、コートジボワールの生産者は先週、80,537 トンのカカオを港に出荷した。前年同時期の数量は50,200 トンであったので現在港への着荷は増えている。10月1日のシーズン開始からの総着荷数量は、約146万トンとなっており、昨年同時期の143万トンより下回る数字となっている。収穫の遅れがシーズン当初に見られたが現在は昨年を上回る数字で推移している。

下記は、同国内のカカオ豆の買受先の一覧である。最大の買い手は、バリーカレポーのグループ企業であるSaco社や、Olam Internationalの関連企業であるOutspan、やCargillなどの企業である。

以下は、10月1日から1月30日までの上位各社の購入量（単位：トン）の表である。

会社名	購入数量(トン)
カーギルグループ	233,133
Saco 社	169,955
アウトSPAN(オーラムグループ)	160,030
Touton 社	94,316
S3C 社	90,374
その他企業	709,301
合計	1,457,109

5、ガーナは引き続き 21-22 クロップは作柄に不安要素、収穫の遅れと不作の懸念

1月6日現在のガーナのG&S (Graded and Sealed) カカオの入荷量は、前シーズンの57万トンから26万3千トンに減少し、53.9%減少したことが、水曜日にCOCOBOD カカオマーケティング委員会のデータから示されました。G&Sは、COCOBODによって品質検査され、袋に封入され、出荷できる状態になったカカオ豆を指す。ガーナの今シーズンカカオ生産量は80万トンに達するとCOCOBODは予測しているが、弊社の取引先農家への聞き込み調査を基にすると、どの農家も収穫の遅れに加えて、収穫量も昨年より少ない傾向が顕著だ。過去2年の豊作を受けて、カカオの木の影響を懸念する声もある為、本当にCOCOBOD予測の80万トンに近づいていくのか、注視していきたい。

6、カカオとバニラで幸せ届け 邦人夫婦、ウガンダで奮闘 (1/30)

「アフリカの真珠」と称されるほど緑豊かな環境の中で生産される農作物から作った商品を届けたい。アフリカ東部ウガンダで、カカオとバニラの加工会社を運営する日本人夫婦が夢の実現に向けて奮闘している。農家から買い取った原材料を現地スタッフが丁寧に加工。輸出した商品は有名店のチョコレートに変身するなど、甘い幸せを世界中に届けている。

ウガンダの首都カンパラに拠点を置く「Farm of Africa (ファーム・オブ・アフリカ)」は代表の岡野あさみさん(38)が、現地で出会った夫の浅井義人さん(36)と2016年に立ち上げた。取り扱うウガンダ産のカカオはコクがあり、バニラビーンズも芳醇な香りが漂う。

契機は岡野さんが10年に始めた世界一周の旅の道中でウガンダを訪れたこと。ボランティアをしていた孤児院でスタッフとして働くことになり、12年に移住。活動をする中、失業率が高いウガンダには「支援慣れ」した人がいることに気づき「頑張っている人にお金が入る仕組みを作りたい」と立ち上げを決めた。

カカオとバニラに目を付けたのは生産地での発酵や乾燥で品質に差が出るためだ。「自分たちも最高品質のものが作れる」という可能性に勝機を感じた。いずれも日陰を必要とする作物で、背の高いバナナなどの木と一緒に育てるため、落ち葉が堆肥となり良い土壌を作るという循環が生まれ、環境に優しいという。

契約する農家は千人以上。品質はもちろん、児童労働をしないなどの条件を求める分のお金も支払う。商品は日本や台湾などに輸出している。

19年からは自社農園も始めたが、新型コロナウイルスの影響で20年3月からはロックダウン（都市封鎖）に。次男を妊娠中だった岡野さんはウガンダに残って営業などの仕事に励んだ。今後は「さらに事業を拡大し、ウガンダの魅力を伝えていきたい」と力を込めた。



*FARM OF AFRICAの皆さんの様子



*自社農園の様子



***手で大切に剥いたカカオホールニブ**

弊社でこの記事に登場したウガンダ・カカオとバニラの栽培をしている岡野あさみさんのカカオ豆、カカオホールニブ、クラッシュニブを取り扱っております。味も素晴らしく、社会貢献性も高い商品ですので是非お試しください。

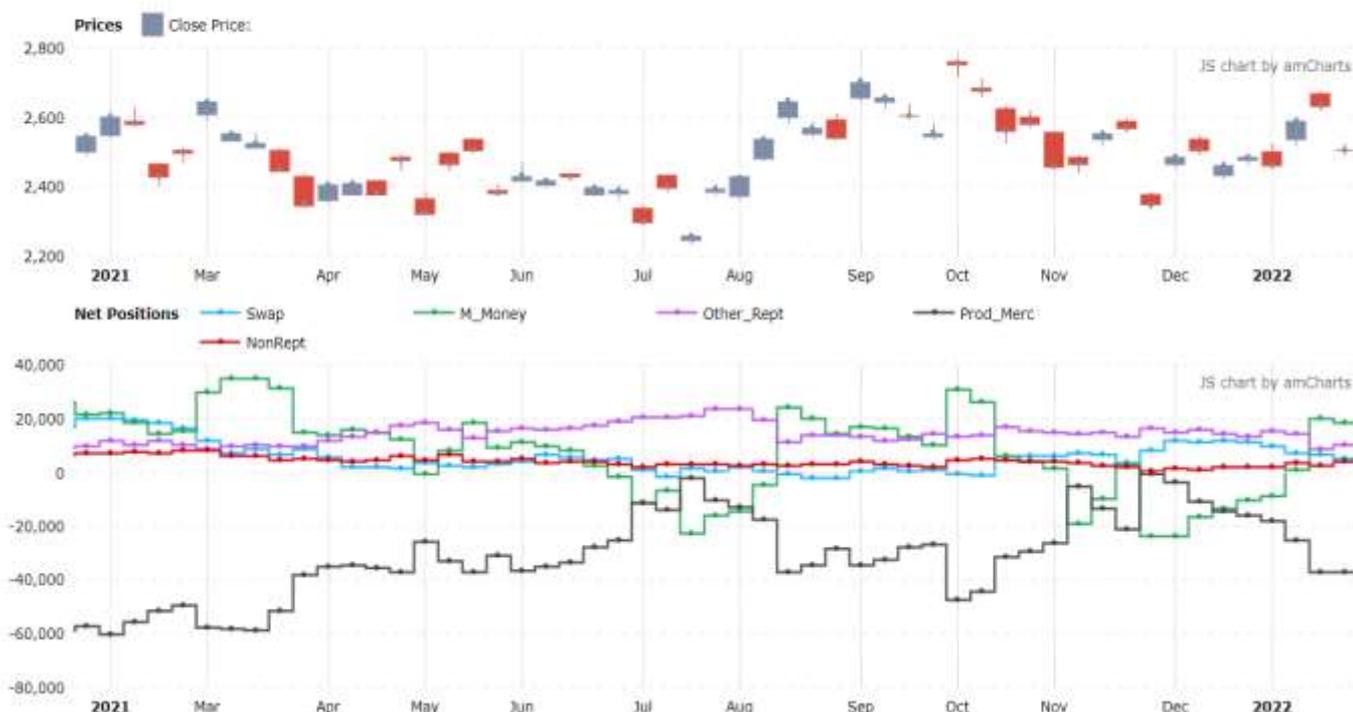
7、ファンダメントのNYカカオ先物は純買い越しポジションを減らす - 11週ぶりの低水準(1/29)

ニューヨークのカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋 (Managed Money) は今週、純買い越しポジションを 1,593 ロット減らし、17,226 ロットとした。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで、(今週で言えば、1月25日)の取引が含まれている。

- 総買い数量は先週より 2,221 ロット増加し、50,245 ロットで、過去 15 週で一番多い数字
- 総売り数量は先週より 3,814 ロット増加し、33,019 ロットとなった。

参考分析資料；過去1年のNY市場の各プレイヤーのポジションと相場価格

Prices & Net Positions



8、投機筋、ロンドン先物は純買い越しポジションが増加。過去12週で最高値(1/29)

ロンドンカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋 (Managed Money) は今週、純買い越しポジションを 5,878 ロット増やして、18,958 ロットとなったことが、ICE 欧州先物取引所の発表しているデータから判明した。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで、(今週で言えば、1月25日)の取引が含まれている。

- 純買いポジションの総量は過去 12 週間で最も強気水準
- 買いポジションの総量は 1 月 25 日までで、前週より 5,302 ロット増加し、33,365 ロットとなった。
- 買いポジションの総量は、過去 12 週間で最も多い数量
- 売りポジションの総量は 1 月 25 日までで、前週より 576 ロット減少し、14,407 ロットとなり、売りポジションだけの総量では過去 12 週間で一番少ない数字。

参考資料) LDN 市場の全プレイヤーのポジション一覧の分析

Commitments of Traders		Futures only							
ICE Futures Europe									
25/01/2022									
MktDate	OI	Producer/Merchant/ Processor/User		Swap Dealers			Managed Money		
		Long	Short	Long	Short	Spreading	Long	Short	Spreading
25/01/2022	278907	163099	221535	40029	11923	4158	31371	14428	13391
Percent of Open Interest Represented by each Category of Trader									
25/01/2022	100%	58.5%	79.4%	14.4%	4.3%	1.5%	11.2%	5.2%	4.8%
Number of Traders in Each Category									
25/01/2022	138	46	41	13	6	9	24	20	14

9、世界のカカオ生産数量と磨砕数量の最新のまとめ (ICCO レポートより)

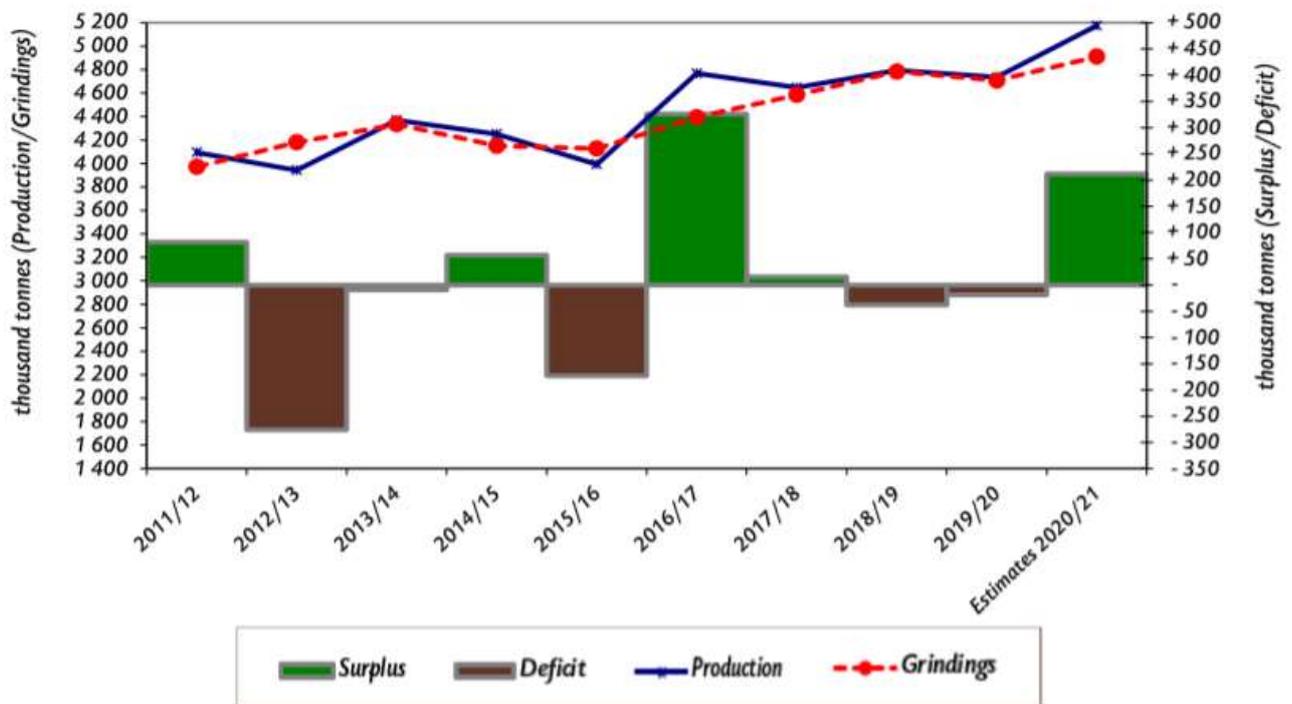
【世界のカカオ豆生産数量】

	2018/19		Estimates 2019/20		Estimates 2020/21	
Africa	3645	76.0%	3549	74.9%	4005	77.4%
Cameroon	280		280		290	
Côte d'Ivoire	2154		2105		2248	
Ghana	812		771		1047	
Nigeria	270		250		270	
Others	129		143		150	
Americas	846	17.7%	903	19.1%	905	17.5%
Brazil	176		201		200	
Ecuador	322		342		350	
Others	349		360		355	
Asia & Oceania	303	6.3%	283	6.0%	265	5.1%
Indonesia	220		200		180	
Papua New Guinea	40		41		42	
Others	43		42		43	
World total	4794	100.0%	4735	100.0%	5175	100.0%

【世界の 카카오豆磨砕数量】

	2018/19		Estimates 2019/20		Estimates 2020/21	
Europe	1718	35.9%	1707	36.3%	1748	35.6%
Germany	445		430		450	
Netherlands	600		600		610	
Others	673		677		688	
Africa	1017	21.3%	998	21.2%	1045	21.3%
Côte d'Ivoire	605		614		620	
Ghana	320		292		322	
Others	92		92		103	
Americas	903	18.9%	893	19.0%	958	19.5%
Brazil	235		221		240	
United States	400		380		385	
Others	268		292		333	
Asia & Oceania	1146	24.0%	1109	23.6%	1160	23.6%
Indonesia	487		480		490	
Malaysia	327		318		338	
Others	332		311		332	
World total	4784	100.0%	4707	100.0%	4911	100%
Origin grindings	2193		2150		2249	

【カカオ豆の需要と供給】



週刊カカオニュースの配信の削除、ご依頼については、下記アドレスまでご連絡願います。

株式会社 立花商店 生田 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp

*本ニュースの相場情報は、客観的なデータの報告及び、著者の主観的な意見を述べるものであり、一切の取引の推奨を目的としたものではございません。カカオ先物、及び現物の取引におかれましては各個人様、法人様のご判断に基づいて行って頂きますようお願い致します。